

にら株養成における生育判断手法の支援

活動対象：木古内町・知内町

道南農試技術普及室に支援を要請し、にら株養成時における生育判断手法を検討した。その結果、株養成の状況を把握し、生育判断手法の目安を作ることができた。

1 課題の背景

- 知内町は全道一を誇るにらの産地である。
- 近年、ほ場の経年化や気象変動により株養成が不十分な事例が多く、安定生産に苦慮している。
- 一方で株養成の良否を判断する手法がないことから、判断手法の確立が必要となっている。

2 活動の経過

道南農試技術普及室に支援を要請、情報の収集と現地調査にて判断手法の検討に取り組んだ。

種	普及センター名	市町村	対応種	調査内容
株	上根農産農研機構所 種苗普及部	徳島市 田井市	種別 種	【栽培種別など】 にら(品種では指定せず)、種結集による品種。 徳島市は地産地消で、単収増進のために品種改良が主目的。 →徳島産品(種結集)の下は指定しない。 -3月播種、6月上旬収穫 -徳島産品(種結集)の下は指定しない(100kg/ha以上)、徳島産品(種結集)の下は指定しない(100kg/ha以上)。 【主な調査項目】 -ポイソム(葉数25枚以上)「地面が見えない程度に葉面を確保し」、「倒伏させない」 -播種時期(播種は、毎年播種(10月末~11月)に検査員が実施している。 -葉数25枚(25枚以上) -株高1.0m以下で、地面が見えない程度に葉面を確保し、青々としているのがよい。(25本で測定できるのならば) -根、葉数が多すぎると根腐れするので、葉面が広いものを、葉面が狭いにならないよう管理が必要。 -葉の伸びが早いので、葉面を広く育てて葉数を増やす。 -葉面が狭い場合は、根腐れに注意してはならない。根腐れに注意して、葉が枯れないようにする。 -葉が枯れてくると、根腐れに注意が必要(根腐れに注意)。葉を枯らすと、根腐れに注意が必要。 -葉が枯れてくると、根腐れに注意が必要(根腐れに注意)。葉を枯らすと、根腐れに注意が必要。 -葉が枯れてくると、根腐れに注意が必要(根腐れに注意)。葉を枯らすと、根腐れに注意が必要。 【その他】 -その他に注釈された内容は20日導入されている。
				徳島県農林事務所 経営・普及部門 (水戸市農産部次長普及センター)



表1 にら生育判断手法についての情報収集

写真1 生育判断手法の検証(現地調査)

3 活動の成果

株養成の状況を把握することができた。

年月日	氏名	種別	葉径 (mm)	葉幅 (mm)	葉長さ (mm)	SPAD	
8月31日	小西 勝則	種別	5.0	7.1	7.6	7.8	68.1
9月27日	氏名	種別	5.0	7.3	8.4	8.3	60.0
8月31日	氏名	種別	2.0	6.0	7.1	5.8	67.6
9月27日	氏名	種別	3.0	6.1	7.6	6.8	56.6

生育判断手法の目安を作ることができた。

項目	(mm)	~5.9	6.0~6.4	6.5~6.9	7.0~7.4	7.5~
① 茎径	指数	1	2	3	4	5
項目	(枚)	~5.9	6.0~6.9	7.0~7.9	8.0~8.9	9.0~
② 生葉数	指数	1	2	3	4	5
項目	観察	不良	~	中間	~	良
③ 草勢	指数	1	2	3	4	5
項目	(%)	0~19	20~39	40~59	60~79	80~100
④ 倒伏程度	指数	1	2	3	4	5
項目	観察	甚	多	中	微	無
⑤ 病虫害	指数	1	2	3	4	5
項目	観察	種落下	多	中	微	無
⑥ 抽苔除去	指数	1	2	3	4	5
項目	観察	甚	多	中	微	無
⑦ 雑草	指数	1	2	3	4	5

図1 調査結果返却様式

図2 にら生育判断の評価項目(暫定板)

4 今後の活動

現地調査による検証を継続し、知内町にら生産組合における株養成時の生育判断手法を確立する。